

通常総会議案

第1号議案

令和元年度事業報告書

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

I 会員の状況

(1) 会員の増減

(令和2年3月31日現在)

	H31. 4. 1 現在会員	令和元年度		令和元年度区分変更者		R2. 3. 31 現在会員	前年差
		入会者数	退会者数	増	減		
開業	335	11	6	9	10	339	+4
勤務等	192	11	15	16	15	189	-3
計	527	22	21	25	25	528	+1

(2) 支部別会員数

(令和2年3月31日現在)

支部	岡山	倉敷	津山	計
開業	206 (58)	110 (37)	23 (6)	339 (101)
勤務等	122 (54)	56 (26)	11 (2)	189 (82)
計	328 (112)	166 (63)	34 (8)	528 (183)
%	62.1	31.4	6.5	

() 内は、女性を再掲

(3) 開業年数別会員数

(令和2年3月31日現在)

年数	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上	計
人数	11 (3.2)	30 (8.9)	23 (6.8)	74 (21.8)	201 (59.3)	339(100.0)

() 内は、開業数に対する%

II 令和元年度重点事業の実施状況

【連合会の方針に基づく事業】

1. 社労士制度推進に関する事業

- (1) 特定業界へのビジネス業域拡大
〈企業主導型保育施設における労務監査〉
 - (ア) 監査員の養成
 - a 中国・四国地域協議会主催研修へ会員2名を派遣（令和元年11月16日）
 - b 労働条件審査実務者研修（令和元年12月14日）
 - c 労働条件審査実務者研修（令和2年2月9日）
 - (イ) 労務監査の実施
県内2保育施設の監査を実施（令和2年2月）
- (2) 電子申請の推進
〈電子申請研修〉
日時・場所：令和元年10月17日（木）13:30～15:30 生涯学習センター
内 容：電子申請事始め
講 師：長谷川 純会員、内田 直孝会員

2. 社会貢献に関する事業

- (1) 「社労士会労働紛争解決センター岡山」の運営
 - (ア) ADR研修
あっせん委員、運営委員、総合労働相談所相談員を対象に3回実施
第1回「あっせん事例のロールプレイング」（令和元年8月31日）
講師：ADRセンター岡山 運営委員
第2回「和解への手法」（令和元年11月2日）
講師：弁護士 山本 勝敏 氏
第3回「同一労働同一賃金について他」
講師：弁護士 妹尾 直人 氏
（令和2年2月29日：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
 - (イ) あっせん件数

区 分	受理件数	受理事件の取扱内容			
		和解成立	和解不調	申立取下	不応諾
令和元年度	5	3	1	0	0
開設以来累計	42	25	2	1	13
全国累計	1,153	444	143	49	490

※令和元年度受理のうち1件は受理後処理手続中

- (2) 学校向け出前授業の実施
中学校29回 高等学校5回 その他1回 計35回（内有料26回）
主な講座：「職場体験学習の前に知っておきたいこと」「働くときの基礎知識」
「働くことについて考えてみよう」「職場のマナー」
- (3) 労働条件審査の実施とさらなる普及促進
以下のとおり入札に係る応札事業者の労働条件審査依頼があり審査を実施した。
倉敷市役所：倉敷市バス専用駐車場、倉敷市環境交流スクエア、倉敷市新溪園、新倉敷駅前再開発住宅等、
児島地区公園（児島マリンプール）、船穂武道館・船穂弓道場 指定管理業務委託 5事業者
岡山地方務局：登記簿等の公開に関する事務（乙号事務） 2事業者
- (4) 治療と職業生活の両立支援
医療機関での出張相談
岡山大学病院 24件、岡山医療センター 19件、南岡山医療センター 2件

3. 会員資質向上に関する事業

- (1) 社労士の職業倫理・品位保持の徹底
倫理研修 第1回目 令和2年2月1日（土）13:30～16:30 岡山県立図書館
第2回目 令和2年2月8日（土）13:30～16:30 岡山県立図書館

講師：副会長 神田 豪、副会長 富永 優子

(2) 新規入会会員研修

・令和元年度新規入会会員研修及びオリエンテーション

日時：令和2年1月18日(土) 10:30～16:30 サン・ピーチ OKAYAMA

講師：会長、各部長、事務局長、ADRセンター長、SR経営労務センター、
東京海上日動火災保険(株)広域法人部

・新規入会会員研修（入会3年以内の会員対象）

4研修：「社会保険実務」「労働保険実務」「社労士事務所の運営」「事務所開設と運営」

4. 広報に関する事業

(1) 社労士月間 中小企業支援セミナー・個別相談会

テーマ：人を大切にする企業づくり「労務管理の適正化と労働者派遣法改正概要」

日時・場所：令和元年10月30日(水) 13:30～16:40 岡山商工会議所

講師：特定社会保険労務士 富永 優子会員、社会保険労務士 大河 健二会員

共催：岡山商工会議所 後援：県内報道各社

(2) 社労士月間無料相談会（令和元年10月19日、11月30日）計55件

年金相談（岡山支部）：天満屋ハピータウン原尾島店（21件） 天満屋ハピータウン岡南店（20件）

法律相談（倉敷支部）：ウイズアップ倉敷（14件）

5. その他

令和元年度中国・四国地域協議会会長会議

日時：令和元年9月13日(金) 14:00～16:00

場所：ANAクラウンプラザホテル岡山

【岡山県社会保険労務士会としての事業】

1. 社会保険労務士制度制定50周年記念誌の刊行

令和元年8月発行、650部（全会員、連合会、各都道府県会、関係機関へ配布）

2. 電子化の推進

電子化推進委員会において、県会事務局の情報セキュリティ対策の強化を図るため、「情報セキュリティインシデントマニュアル」を作成するとともに、物理的対策の強化について検討した。また、行政機関と連携し、電子申請の推進を図った。

3. 「新型コロナウイルス関係労働相談窓口」の設置

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける労働者や経営者の方々を支援するため、「新型コロナウイルス関係労働相談窓口」を設置し相談に応じた。

開設期間：令和2年3月6日(金)～3月31日(火) 13:00～16:00

開設場所：県会総合労働相談所

4. 他士業との連携強化

(1) 第8回士業連携フォーラム

日時・場所：令和元年9月20日(金) 18:00～20:30 ピュアリティまきび

内容：士業紹介（社労士会 安藤 和人会員、中小企業診断士会）、情報交換

(2) 10士業合同無料相談会

日時：令和2年1月21日(火) 9:30～16:00

場所：岡山市役所（1件）、倉敷市役所（5件）、津山市役所（2件）

(3) 第10回弁護士会との合同勉強会（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

日時：令和2年2月27日(木) 16:30～19:00

場所：岡山弁護士会館

(4) 労働局との連絡会議（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

日時：令和2年3月5日(木) 13:30～15:00 ピュアリティまきび

内容：労働行政の現状、社会保険労務士会の現状、意見交換

Ⅲ. 各部事業実施報告

執行機関	重点事業	実施結果	
総務部	1. 県会事業運営	理事会・総会運営／中国四国地域協議会協力 総会と地域協議会について企画立案するチームを新たに発足させ、以下の企画に取り掛かった。 ・総会の基調講演と懇親会での余興等について ・令和2年度岡山で開催される地域協議会研修会についての検討 ・令和3年度岡山で開催されるフォーラムについての企画の検討	
	2. 規程の見直し	慶弔規程について見直しを行い、理事会にて承認を得た。また、会費減免規程を見直すにあたり、理事会にて全理事より意見を頂戴し、現在も修正案を検討中である。	
	3. 財務	予算管理の明確化 上半期の予算の執行状況を理事会にて報告した。	
		財務状況の健全性 財務健全性の観点で将来に向けての検討を行った。	
	4. 会報	実務に役立つ情報提供の一環として、労働新聞社から許可を得て、11月号より新聞紙面を掲載させるようにした。また、交流を図る場として会員から募った川柳を載せるようにした。	
	5. 50周年記念事業	50周年記念誌が完成し、全会員及び関係機関に配布した。	
	6. 会員交流	会員間の交流と親睦を深めるため次の事業への積極的な参加を促進した。 ・中国四国地域協議会のソフトボール大会が香川県で開催され、17名の参加があった（4/13）。 ・会員親睦交流会では、お花見を行い、25名の参加があり、親睦を深めることができた（4/6）。	
7. 行政協議会の開催	当会の活動内容の報告をし、労働行政の現状や今後の動向について意見交換を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した（3/5）。		
研修部	1. 一般会員研修の充実	働き方改革研修（5/14） 連合会の伝達研修として、働き方改革の目的と背景、同一労働同一賃金、直近の判例紹介と対策等幅広く働き方改革について学んだ。 外国人雇用と改正入管法による新たな在留資格についての研修（9/7） 現行法的に整備されている外国人雇用の枠組みについて基本的な知識を得た。また、改正入管法の要点について学んだ。 安全管理研修（10/23） 労働局の担当官を講師として、臨検時のチェックポイントや具体的な事故例など労働基準・安全衛生に係る監督官庁の視点から重大事故・事件の防止策を学んだ。 医療労務コンサルタント研修（10/26） 治療と仕事の両立をテーマとし、医療労務コンサルタント以外の会員も対象としたオープン研修会を開催した。 人手不足を解消する求人ノウハウ（11/9） 採用したい人物像をしっかりと考えるという視点から、求人要項のまとめかた、求人媒体、社内の意見のまとめ方などを広く学んだ。 民法研修（1/25） 民法の基礎知識及び、法改正の内容について学んだ。 働き方改革研修（2/15） 同一労働同一賃金について裁判事例を元に法的注意点を学んだ。また、メンタル不調の対処の仕方についても理解を深めた。	
		2. 新規入会会員研修	会員講師による労働実務と社会保険事務研修を6/1に、他業種連携や営業、社会保険労務士事務所経営にまつわる管理業務など幅広く実務的な内容を「実務始」として7/25に開催し、それぞれ好評を得た。 また、初めての試みとして、開業希望者に対する事務所経営研修を9月25日に行った。各部やPT等による県会組織に関連した研修を1/18に終日に亘って行い、恒例の新年互例会を引き続き実施し、新規会員を囲み、会員同士が交流を交わすことができた。
		3. 自主研究会の活性化	自主研究会への助成金を2研究会に6万円支給した。
		4. 必須研修	倫理研修を2/1および2/8に実施した。
		5. 電子化推進	生涯学習センターにてPCを用いて電子申請の練習を行った（10/17）。

執行機関	重点事業	実施結果
事業部	1. 行政協力業務の推進	<p>年金事務所における年金相談窓口の委託契約に基づき、年金事務所と意志疎通を図りながら業務を実施した。</p> <p>年金事務所の相談窓口担当者に対して、継続研修を実施し、社労士会連合会の研修資料等も利用して、相談員としてより実践的な研修を行い、担当者の更なる能力の向上を図っていった。更に年金事務センター・各年金事務所の組織変更に対応できるよう窓口担当に入ってもらい新人社労士の要員の養成を今年度は4月から座学及びWM研修を計画実施し、2名が倉敷東年金事務所及び津山年金事務所まで窓口対応中である。また出張相談についても、今年度も各年金事務所との連携をとりながら実施した。</p>
	2. 年金・労働相談所業務の運営	<p>令和元年度の相談員体制は、年金相談員12名、労働相談員18名である。</p> <p>年金相談は、月2回の開催ながら街角の年金相談センターとも連携を行い相談会を実施した。また相談員の研修については、実践研修を中心に、事例研究、マナースタンダード、法律改正などの必須研修を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために最後の必須相談員研修が延期になった。</p> <p>労働相談は、県会にて毎水・金曜日に開催し、岡山・倉敷両市役所にて月1回（第4水・木曜日）、ゆうあいセンター岡山で月1回（第3日曜日）開催した。なお、「新型コロナウイルス関係労働相談窓口」を令和2年3月6日から開設し、企業等からの相談に対応した。</p> <p>ADRセンター岡山との更なる連携体制をとりながら、実践的な研修を行った。また年1回実施している必須研修についても担当者の希望に沿ったものになるようアンケート等で把握した。</p> <p>無料相談会を市政だよりや新聞紙面等の広報活動を通して、一般市民への利用を呼びかけていった。</p>
	3. ゆうちよ銀行事業の運営	<p>老齢年金の裁定請求を行った。またメンバーの入れ替えを行い、5名体制で業務を遂行した。</p> <p>研修においては、マイナンバーの取扱いの再確認や留意点、手続き上の共通理解などの内容を中心に行い、全体のスキルアップを図り、トラブルが発生した場合の処理手順の確認について行った。なお、当該事業は令和元年度をもって終了した。</p>
	4. 学校出前授業の実施	<p>県教育委員会や依頼校とも連携しながら出前授業を実施した。</p> <p>これまで中心だった中学校からさらに高校、専門学校への出前授業を実施し、広報活動を展開していった。</p> <p>講師の適性を活かしながら、魅力ある授業が行えるように、講師間の情報交換やレジュメ、授業内容の検討を行いながら、更なるレベルアップを図った。</p> <p>他の土業も積極的に出前授業を行っており、これから社会に出て行く若人達及び支援する教師にも労働社会保険関係の重要性を認識してもらうために出前授業の講師を増やし、参加していただく学校も若干であるが増加した。</p>
	5. 治療と仕事の両立支援	<p>従来のがんチームが中心となって、岡山大学病院にて月2回の出張相談を充実させるだけでなく、がんチームの相談メンバーのノウハウを持って難病支援センターにも働きかけ、長期的展望を視野に入れながら、がん及び厚生労働省に指定されている400前後の難病と闘いながら仕事をしていく方達の支援に取り組んでいった。また、県下の13のがん診療連携拠点病院等の広報活動を実施し、更に岡山県保健福祉部医療推進課とも連携しながら事業主団体に対して年間5回程度の「がんと就労」「治療と仕事の両立支援」についての理解・広報活動をセミナー講師を中心に展開していき、今年度は国立岡山医療センター及び南岡山医療センターでも相談会を開催した。</p>
	6. 倉敷市労働条件審査	<p>事業部は、倉敷市の指定管理者について労働条件の審査だけではなく、社労士個人及び岡山県社労士会の長期的展望を視野に入れ、倉敷市の社会福祉関係事業にも同様の労働条件審査の必要性を訴えていった。倉敷市指定管理者労働条件審査は、平成30年度は豪雨災害があり、実施が延びた施設が翌年度に回ってきたこともあり、要員を増やし充実した年度であった。また倉敷市だけでなく他の市町村へ同様の訴えを行っている。</p> <p>また、企業主導型保育施設の労務監査が試験的に県内2施設で実施され、来年度に向けての経験値となった。</p>

執行機関	重点事業	実施結果
広報部	1. 継続した広報活動の推進	<p>社労士制度を効果的に県民に周知するため、社労士会の取り組みを紹介する各種ポスター、チラシ等を活用して多方面へ広報活動を継続して行った。</p> <p>会員社労士の協賛を得て山陽新聞への広告を行い、社労士の活用促進及び社労士の活動やイベント案内をして社労士の社会的地位の向上を図った。</p> <p>有効な各種媒体を通じて、社労士制度、社労士業務及びイベントのPRを行い、社労士の認知度アップを図った。</p>
	2. 社労士業務PR事業の実施	<p>岡山商工会議所との共催により「中小企業支援セミナー」を開催し、70名の参加があった。個別相談は4社であった。</p> <p>無料年金相談会・労務相談会を以下のとおり開催した。</p> <p>岡山支部 10/19 倉敷支部 11/30</p> <p>企業向けセミナー（日本政策金融公庫・TKC中国会・岡山商工会議所・岡山県商工会連合会との共催）に講師を派遣した。</p>
	3. 他士業等との連携強化	<p>平成31年度は中小企業診士会が当番会として、7/20に親睦ゴルフコンペ、9/20に士業連携フォーラムが行われ、他士業との交流が行われた。次年度は弁護士会を当番会として開催することが決定した。</p> <p>10士業合同相談会に参加し、岡山・倉敷・津山会場にて年金労働相談を行った。（1/21）</p> <p>弁護士会との合同勉強会を「企業におけるメンタルヘルス対応」をテーマに2/27に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p>
	4. 県会ホームページの運用管理	<p>県会ホームページの有効な運用に努めた。</p>
プロジェクト統括部	1. プロジェクトチームの統括	<p>理事会及び会長特命により成立したプロジェクトチームを統括し、会との連絡調整及びフォローを行った。</p>
	【医療労務管理改善チーム】	<p>平成30年度に続き、岡山労働局委託事業「平成31年度 医療労務管理支援事業」の一般競争入札に参加し、受託した。「岡山県医療勤務環境改善支援センター 労務管理分室」として岡山県会事務局を拠点に活動した。</p> <p>以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関からの労務管理に関する相談対応業務 ・医療機関の「医療勤務環境改善マネジメントシステム」導入に係る個別支援業務 ・情報収集業務 ・岡山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会への参画 ・岡山県医療勤務環境改善支援センター講習会への講師派遣および参加 ・医療分野の「雇用の質」の向上のための研修会運営・実施 ・周知・広報業務 ・医療労務管理アドバイザーの確保と研修及び会議の実施 ・医師会、看護協会等関連団体との連携強化
2. 新型コロナウイルス関係自治体支援	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響に対応する自治体からの緊急支援要請に対し、事業部と連携しながら対応を図った。（3/30岡山県：新型コロナウイルス対応支援策に関する特別相談会）</p>	